



21世紀に向けて「はばたけ」(元気いっぱいのつくし保育園児)

広報

しべつ

萌える海と大地・さわやか交流郷

迎春

本年も広報しべつを
よろしくお願いします。

1994年(平成6年)

1月号 No.323

『まちづくりを語る』



(左から) 田中さん、渡部さん、西山さん

平成六年の新春を迎え、町民の皆さまがお過ごしでしょうか。今回は新春特別企画として、産業青年と小田桐町長が標津のまちづくりについて語りあいました。

出席者

- 農協青年部長
田中弘年^{さん}
(茶志^町・パイロット・38才)
- 漁協青年部長
渡部秀人^{さん}
(伊茶^仁・32才)
- 商工会青年部長
西山一成^{さん}
(双葉^町・37才)
- 小田桐町長

町長 皆さん、新年あけましておめでとうございます。

昨年は一月の釧路沖地震に始まり、七月の南西沖地震、しかも冷害による凶作という中で、特に年末にはガット・ウルグアイ・ラウンドの調停案を政府が受諾したことにより、これからの農業問題は、特に厳しくなってくるということは私から言うまでもありません。国や道においても、長期的展望に立った新しい農業プランをつくっているわけで、そういう中で町としても平成六年度中には、本町の農業発展整備計画を打ち立てていくことになるが、非常に厳しい中だけにつくり方をまとめているには、なかなか難しい問題です。

漁業においても特にサケ漁は、昨年、本町だけが不漁で水揚げ高日本一の差を返上する結果と

なりました。これは長期的な視点に立って「サケ」というものを考えると、そう心配することでないが、価格の面においては昨年の価格がこれからの価格であると、とらえていかなければ。しかも情勢を聞いてみずと、今まで日本だけの製品であった「イクラ」も中国でつくり始め、平成五年から輸入しているなど、厳しい状況になってきている。

農業も漁業も、これからの二十一世紀に向けて、今世紀中には厳しい英断の中で、これからというものをつくり変えていく考え方で進めていかなければと思います。特に本町は基幹産業が農業と漁業であり、この産業が悪くて標津のまちが良くなるということはない。こうした産業の安定がまちづくりの基本となり、この中で始めて、流通経済である商工業関係も発展を考えていかなければならない訳ですが、いずれも非常に難しい時代になってきたと思います。これらについて、皆さんとこれからのまちづくりについてのお話しをしていきたいので、よろしくお願いします。

産業青年と町長の '94新春座談会

産業の行方は――



産業青年と語りあう小田桐町長

田中 農業問題は――世界の中の一つの日本、世界的な流れに逆えないような状況になつてきていると思うが、ただ、その中で生活を営んでいる一農業者として考えた場合、世界がどうのこうのといつても、自分の生活を守り、家族を守るのが第一。いかにしてこれからの未来に向けて、魅力ある農業というものをつくっていくにはどうするのか、真剣に考えていかなければと思っています。

渡部 漁業について。せっかくすばらしい施設のサーモンパークも完成し、サケのまちとしてPRしてきたが、昨年水揚げ日本一の座を落ちたことは残念。価格も下がる一方であり、これからいかに付加価値をつけていくか。商品開発も必要ですね。**西山** 商業について。デイスカウントショップが増えてきている今日、自分の努力しだいと言いたい、それだけではどうしようもなくなっている。

小さな酒屋 米屋さんなど、釧路あたりでは軒並みつぶれている。

町長 いずれも難しい問題。漁業では良い種（稚魚）をつくつて、丈夫な魚を放していくのが一番の課題。人工的なことであり、漁業者もこれに目を向けながら協力し合う中で実現をしていく。

農業はここまできて乳製品も関税化されると、思い切った英断の中で、個人経営でも一個人といえ法人化することによる、大規模化など必要ではないでしょうか。

田中 規模拡大は代々続いてきたが、牛乳を搾っているだけでは消費者に買ってもらえないのが現実。消費者に喜んで買ってもらえるようなものをつくりたい。牛乳も減産になり、消費が伸びなくて――。

町長 大規模とは生産コストをいかに下げていくかであり、そういう面での対応をするため、地元としてどのような政策を国に実現してもらうか、国家貿易品目であるうちに大きな英断をしなければ。個人の経営の中では、能力的にも規模拡大は限界

があり、この対応が必要である。漁業はサケにとらわれることなく、過去の歴史の中で、漁業がどれだけのものが、どういう生産をされてきたか、その背景の中で標津の将来を考えていかなければ。サケは基本的なものであり、絶対的なもの。根室海峡として、また、北海道沿岸の全体としても、つくり育てる漁業を進めていかなければ。

今回、日本海に道立の栽培漁業センターができることに決まったが、他の海域にも中核の栽培漁業センターも必要であることから、根室海峡にもその一つをと思っている。それは決して道立だからと言って道ばかりでなく、市町村も漁協もそれぞれの役割、責任、費用を分担する中で、関係機関が一体となり、漁業の生産というものを再構築し、そういう努力をみんなで行っていききたいと思っています。

商業の場合、地の利が一番の条件となっており、中標津の生活圏の中に標津が入っていると考えるが、どうすればということとはなかなか難しい。中標津の中においても大型店と小型店の問題がある。そういう立場でも

って、標津の個性ある店、サービスマンで消費者のニーズに対応していくことが大事だと思います。



西山さん

いくかにある。
町長 魚の価格が上がることは予想できません。輸入品が多くなり、厳しくなる。経営の合理化が必要となります。

これからの二十一世紀を考えると、高齢化の時代、国際社会に対する責任負担、しかも経済を考えるとバブルの時代にもどることはない。せいぜい経済成長率は3%が精一杯。

西山 以前にこういうことがあったんです。購売力のある中標津から逆に標津にお客さんをとサケの安売りを考え、行動に移そうとしたが、施設や人の確保などで断念したこともありまして。

町長 確かに今、ここにきて農・漁・商業も、こうするという特効薬がない。構造的にしっかりとつくりあげていかなければ。これが今世紀最後の七年間の大きな仕事になる。そして、二十一世紀にそれを伝えていくという一番大事な時です。
渡部 漁業もこれからは獲るだけでなく、経費をいかに削減し

ストーリーのあるまちづくりを

町長 基幹産業の話になりましたが、先ほども述べたとおり、本町はこれが安定しないことにはまちづくりになりませんが、これはこれとして、平成六年度から新たな発想での「ストーリーのあるまちづくり計画」を進めております。苦しい中でも、町民皆さんのご協力をお願いいたします。この計画は市街地だけをとらえるのではなく、全町をとらえたものにしていきたくと考えています。潤いと安らぎ

のある個性的な中に、さらに味つけをした、だれもが住んで良かった、住みたくなるようなまちをつくらせていくものです。

その方向が定まっていますので、さらに文化・芸能・祭りなどをどのようにしていったらよいか、若い人たちの意見も十分聞いていきたい。自分たちのまちは、自分たちでつくる意識が大切でしょう。

渡部 いろいろな祭りも一つにしばって行つては。町長 これからは、あきあじまつり、農業フェスティバルなどを一本化した中で産業まつりとして実現していきたいものですね。

町長 これからは、あきあじまつり、農業フェスティバルなどを一本化した中で産業まつりとして実現していきたいものですね。

小田桐町長 田中 町から、祭りの協力依頼があるが、仕事の関係で参加しづらいことも事実。いずれは町の祭りとして、年に一つ二つに集約し、他町からも来てもらえるようなものにすれば、おのずと町民の参加も増え、盛り上がるのではないかと。



渡部さん

西山 私も一つにまとめた方がよいと思います。一つ終つてまた一つと、次から次となると商業者も大変。どうせ仕事を休むんだつたら、その方がやりがいがあります。これは近い将来実現したいですね。

町長 これらのことも、今後、ストーリーのあるまちづくり計画の中で、町民の皆さんと内容も含めて、大いに検討していきたいと思っています。

北海道は、なんと言っても食糧の供給基地であることは間違いない。農業、漁業なくして地域は成り立ちません。

今、私たちは、子供たちのために、どういうふうな明るいまちをつくらせていくか責任があります。皆さんはどのようなまち



田中さん

づくりをお考えですか。
西山 本町の歴史・文化を大切にしていってほしいと思います。ただ、道路をつくり便利になった、それだけでは、今の時代良いかもしれませんが、自分としてはさびしい気がします。
町長 そういう、まちをどうしていくか、景観なども歩いて楽しい道路にするなど大事なことです。
渡部 生活レベルの向上となる言葉ではうまく表せないが、楽しいまちづくりを考えているんですが。
町長 まちづくりへの情熱に燃えているんですね。
田中 農・漁・商業それぞれの分野で、将来に向けて明るい展望が開かれるように努力したい。そのことが、まちの発展につな

がるのではないかと。
町長 これから、良いまちをつくるということは、農・漁・商業者が力を合わせていくことが一番大事になってきます。
 もちろん、その団体そのものもそうなっていないかなければならないし、個別的な分裂した行動ではなく、共同した行動がなお一層良いまちをつくることになるのではないかと。
 そういう面で、あなた方の若い力を結集し、まちの未来のためにがんばっていただきたいと思っていますし、期待をしています。本日はありがとうございました。

ストーリーのあるまちづくり始動

「晨(あした)を創る町民会議」初会合



21世紀に向けた新しいまちづくりを考える初の町民会議

「ストーリーのあるまちづくり計画」の具体的な推進について検討する町民会議の初会合が十二月十八日、農村環境改善センターで行われました。
 会議の名称は「晨(あした)」を創る町民会議」で、晨の意味である「新しい時代の夜明け」にちなんで、ストーリーのある

まちづくり計画がめざす、二十一世紀へ向けた新しいまちづくりを考えていこうというものです。
 町長から、「基幹産業である農業、漁業が厳しい局面を向かえており、これに伴う影響も大きい。将来の標津町が他に誇れる魅力ある定住地域となるよう

町民の皆様と考えていきたい」というあいさつのあと、担当である企画振興課の職員から、ストーリーのあるまちづくり計画の内容や、検討する内容・日程などが説明されました。

会議には、総合拠点(標津)、沿岸(海岸地域)、農村拠点(川北、農村(農村地域)の四つのゾーンから選ばれた四十五人のメンバーのうち三十人が出席しました。

今後、二、三回の会合を重ね具体的には心豊かに生活することができる潤いと、安らぎのある景観整備をどのように行っていくたらいいか、また、標津町らしい芸能文化、祭りをどのようにしていったらよいかなどを中心に話し合われることになっています。

町では、町民の皆さんから出された意見を各ゾーンごとにまとめ、取り組めるものから実現していくことにしています。

なお、広く町民から意見を聞くということから、会議のメンバーについては追加などを考えており、参加を呼びかけています。

新春のごあいさつ



標津町長

小田桐 四郎

年頭にあたって

町民の皆様、謹んで年頭の
祝詞を申し上げます。

輝かしい平成六年の新春を、
ご健勝で迎えられたことと存じ
心からお慶び申し上げます。

昨年は、国内にありましては、
新年早々の釧路沖地震にはじま
り南西沖地震、台風による大洪
水、冷夏による凶作など自然の
猛威に苦悩した一年でありまし
た。また、バブル経済の崩壊に
よる不況が裾野を広げ、かつて
ない厳しい状況に陥るなど、深
刻感が増しています。

本町に目を向けてみますと、

農業については生乳の計画生産
量が国内の需要と供給のバラ
ンスの不均衡によって増産から減
産に転じたことや、肉牛の個体
価格の下落により、農業生産額
は減少となりました。現在の牛
乳・乳製品の需要の動向をみて
も生乳の増産は見込めず、また、
牛肉の関税率の引下げが懸念さ
れます。さらに、ガット・ウル
グアイ・ラウンドの調停案を受
託したことにより、コメの部分
開放が決定し、このことは調停
案が提示されている「関税化の特
例措置が認められる」という条
件を満たすのはコメ以外にない
ことから、現行で輸入制限して
いる乳製品やでんぷんは関税化
の対象になるということであり
ます。酪農業を基幹産業とする
本町にとって大きな痛手となる
ものであり、いっそう厳しい環
境下にあります。

漁業につきましても、全道的
には当初の予想を跳ね返し、史
上三番目の豊漁に沸いた秋サケ
定置網漁が、本町では漁獲量、

漁獲高とも前年を大きく下回り、
二年連続の不漁となりました。
八年連続であった日本一の座を
返上したことは非常に残念であ
りますが、長期的な視野に立つ
た対策が必要であります。ホタ
テ漁については、漁獲量が順調
に回復したこともあって、三年
ぶりの好漁となりましたが、限
られた海域の漁業だけに他の資
源の活用も含めて、資源の枯渇
に対応した育て獲る漁業の確立
が重要であります。

基幹産業を取り巻く情勢はな
お厳しい状況が続くことが憂慮
されますが、これらを打開して
いくためには、生産コストの低
減を最優先に取り組んでいかな
ければなりません。

これは行政運営にも言えるこ
とであり、国家財政や地方財政
が厳しさを増す現在、行政のス
リム化や広域的な視野に立った
施策の展開を管内一市四町が協
力で行うなど、行政コストの
低減に努めていかなければなり
ません。

平成六年の新春を迎え、これ
らの情勢や、政治をはじめ、流
通構造、各産業の形態などのあ
らゆる分野での変革の方向を見

極めながら、二十一世紀へ向け
た施策の方針を腰を据えて考え
ていかなければならないことを
痛感しております。

まちづくりの着実な推進

さて、このような厳しい状況
下にありますとも、町民の皆様
の総意と熱意によるまちづくり
をいっそう推進していかなけれ
ばなりません。

幸い昨年は、特別養護老人ホ
ーム「はまなす苑」の開苑、「標津
マリンプラザ」の着工、「標津河
川環境整備事業（桜づつみモデ
ル事業）」の推進など地域プロジ
ェクト事業は着実に前進するこ
とができました。年度内には「
標津病院」「生活環境保全林」が
完成し、まちづくりの歩みはい
っそう確かなものとなります。

「学校給食センター」「四百メー
トルリンク」「母子通園センター」
「老人等福祉型公営住宅」の建設
をはじめ、「標津小学校」の大規
模改修や在宅のお年寄りを対象
とした「デイ・サービス事業」
の開始など、教育・福祉の充実
も図ることができました。

魅力ある定住地域づくりを めざして

しかし、標津町のまちづくり

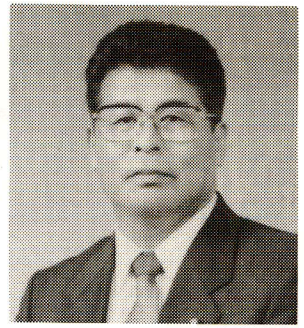
がホップ・ステップまで進展し
てきた現在、さらにジャンプへ
と発展するためには、本町の将
来像を明確にし、共通な認識の
もとにまちづくりを進める必要
があります。

「標津町らしい自然や町並みを
バックに、生き生きと暮らす標
津人がいる」そんな将来像を描
いた「ストーリーのあるまちづ
くり計画」を平成四年十一月策
定しております。

「住んで良かった町」、「住み
たい町」といった魅力ある定住
地域づくりのために、具体的に
どんなイメージで、何を行なえ
ばいいのか、また、次の時代に
何を残していけばいいのか、町
民の皆様とともに真剣に考えて
いきたいと思います。

これは、まちづくりのこの上
ない基本であり、すがすがしい
新春を迎え、心清らかにこの思
いをいたしているところであり
ます。

最後に町民の皆様が幸福で充
実した一年でありますよう、心
から祈念し、年頭のごあいさつ
といたします。



標準町議会議長

荒谷 良治

年頭にあたって

町民の皆様新年あけましておめでとうございます。

平成六年の輝やかしい新春を皆様と共に迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

本年はより充実した最良の年でありますようご祈念いたしております。

顧みますと昨年は新年早々の釧路沖地震で本町も震度四ということでしたがかなりの揺れの大きさには、ただぼう然としていただけでした。

また、七月十二日の北海道南西沖地震は今世紀最大級という超大型で、想像を絶する大津波、そして大火災が発生、恐ろしい

中で多数の犠牲者が出る。自然の底知れぬエネルギーの怖さを感じたところです。

地球規模での異常気象が、天変地異か、各地で大洪水や干ばつ、猛暑や寒冷と、人間の能力では対応の難しい災害がある日突然と発生しており、私たちはこれまでの事実や体験から出来るだけ多くのことを学び、被害を最少減にするため最善を尽くさねばと思います。

バブル経済の崩壊や急激な円高、そして政局不安定など悪影響が重なり、地方の経済を取り巻く環境も一段と厳しいものがあります。

本町の基幹産業である酪農も牛肉の輸入自由化、個体価格の大幅な下落、生乳需給の低下など酪農経営は悪化してきており、かつてない厳しい状況にあります。

一方、漁業も同様近年水産物の輸入は大幅に増加し、サケ・マス類だけでも一千四〇〇億円となり、魚価に大きい影響を及ぼしています。

特に八年間水揚げ高日本一の座にあった鮭漁は標準川水系の不振で、他地区が豊漁という中

で標準だけが不漁という最悪の年となり、町経済を始め、関連企業に与えた影響は計り知れないものと思われまます。

特別養護老人ホームはまなす苑も四月開苑以来、入苑者を始め各関係者より大変喜ばれ順調に運営され、また、ディ・サービスについてもお年寄りの快適な生活環境の場として利用され「健康と福祉の村」も今年四月に病院も新しくなり、充実されて参ります。

このほか、「サーモンパーク関連の整備」、「マリンプラザ」、「生活環境林整備」、すでに完成した「老人等福祉型公営住宅」、「四〇〇メートルスケートリンク」、「学校給食センターの建築事業」や土木事業も計画に沿って進んでおり、議会といたしましても豊かな環境の中で活力のある住みよい町づくりのため、町民の声を反映して行くよう十分審議を尽くして対応して参りたいと思っております。

終りになりましたが、町民各位のご健勝とご多幸をご祈念いたしまして新年のご挨拶いたします。



男の子はたこ揚げ、女の子は羽根つき……お正月の楽しい遊びですね。

ところが、電線や車のために、昔のように道路で遊ぶことができなくなりました。また、原っぱも少なくなつたため、近ごろのお正月は、

たこ揚げや羽根つきをする子どもが少なくなりました。たこも羽子板も、最近では装飾品として飾られることが多いようです。

お正月にたこ揚げをする習慣は、江戸時代から始まったといわれています。特にお正月の数入り（十六日前後）に、たこ揚げをする習慣があったようです。

たこ揚げの季節は、各地によつてさまざまで、二月や四月、ところによつては端午の節句の行事とされているところもあります。有名な浜松のたこ揚げは、五月の連休です。たこという名も、いか、いかのほり、たかなど、地域によ

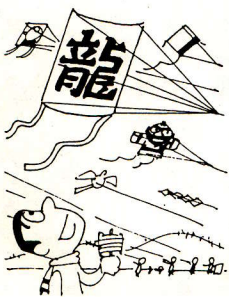
たこ揚げ

つていろいろあります。

日本のたこの種類は、龍などの勇ましい文字を書いた字だこ、武者絵や日の出などを描いた絵だこ、やつこさんの形のやつこだこなど、いろいろです。最近では、日本でも洋風のカイトに人気があります。

お正月は、ついテレビやテレビゲームで遊んでしまい、運動不足になりがちです。昔のように、風の中をたこ糸を持って、思い切り走り回るのもいいですね。

お正月のおせち料理に飽きたころ、学校の給食が懐かしくなる子どもも、いるかもしれません。一月二十四～三十日は、「全国学校給食週間」です。子どもたちの体と食習慣を考えた学校給食は、ますます重要なものとなっています。



標津中生徒が自主的に参加 老人レクリエーションの集い —企画・準備・進行役すべて生徒の手で—



会場を笑いでうづめいた「ジャンケンチャンピオン」ゲーム

十一月二十五日、町総合体育館を会場に第九回老人レクリエーションの集いが行われました。この集いは昨年まで町内の老人を対象に町単独で開催。今回は標津中学校の二年生が自主的に参加、催しものの準備・企画・進行役などすべて生徒たちの自発的な提案によつての開催となりました。

交流活動が様々に試みられてきました。

生徒たちはこの日に合わせて自主的なプログラムを作成し、二週間前から準備を進め当日を迎えました。開会式・ラジオ体操のあと、生徒がこの日のために作った老人カルタやお手玉、ジャンケンチャンピオン、輪投げゲームなどに挑戦。参加した百人余りのお年寄りは生徒の説明を受け、一緒にゲームを楽しみました。お昼には生徒の手づ

くりのうどん、そば、すいとん、甘酒と一緒に食べ、手づくりクッキーのおみやげも。
また、別の班ははまなす苑を慰問、人形劇を披露したり、昼食では寮母と一緒に介護にあたるなど、入死者との交流を深めました。

同校では「生徒の意識、心の面での成果が大きくあらわれ、日常活動においても、やさしさやいたわりに対する心遣いが育つてきている」と話しています。

はまなす苑に桜の木を寄贈

—町議会OB会—



荒谷理事長に目録を手渡す
高橋会長(右)

「少しでも入死者の皆さんの心が和むように」と、町議会OB会（高橋明会長・会員十八人）は十一月三十日、特別養護老人ホームはまなす苑に桜の木十本を寄贈しました。
寄贈された桜の木は樹齢十五年、高さ約五メートルをはじめとする立派なもの。
同苑では「これで施設周辺の環境が良くなる」と喜んでいます。来年の春、花が咲き入死者の目を楽しませてくれることでしょう。

満百歳おめでとう

—荳澤ユキさん(北川北)—



百歳を迎えた元気な荳澤さん

十二月十二日、百歳を迎えたのは北川北の荳澤ユキさん。

耳が少し遠くなったのを除けば体の方はいたって健康。身の回りのことはすべて自分でするそうです。食べ物の好き嫌いはなく、お年寄りがよく嫌うマヨネーズやケチャップ、ソースが大好き。

長生きの秘けつを本人に聞くと「別にないけれど、家庭円満が第一。食べることが楽しみ」と話してくれました。

この日は小田桐町長も駆けつけお祝いの記念品が贈られ、家族や親戚と一緒に記念撮影。あたたかい家族に囲まれて幸せそうなおばあちゃん。いつまでもお元気で長生きしてください。

▶ダイナミックな演奏で観客を魅了した「カムイ・チエップ」



見事な演奏、ボーカル 200人の観客を魅了

「カムイ・チエップ」がジャズコンサート

町内の音楽愛好者で結成しているジャズバンド「カムイ・チエップ・ジャズ・オーケストラ」(矢吹真人代表)は十二月十一日町農村環境改善センターを会場にジャズコンサート「SWING NIGHT'88」が行われました。今回は特別ゲストとして、ジャズボーカリストの中村悦子さん(中標津町在住)を招いての演奏となりました。

ジャズ愛好者や音楽好きな約二百人が会場を埋めつくし、ダイナミックな演奏とすばらしいボーカルに観客はくぎづけ。

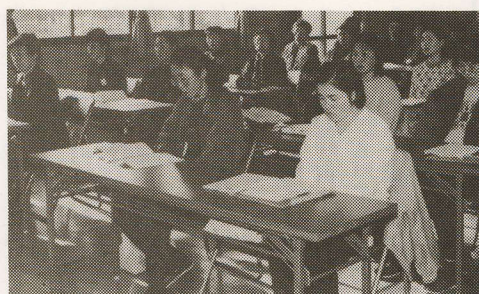
カムイ・チエップ・ジャズ・オーケストラの矢吹代表は「私たちはアマチュアだが、常に自分たち自身に刺激を与え、演奏技術の向上を目指している。今回のコンサートも皆さんからのご高評やアドバイスをいただき今後の糧にしていきたい」と力強く語ってくれました。

食生活改善実践で 健康の輪を広げよう

町食生活改善推進協議会 設立総会開催



あいさつする川瀬会長



総会に出席した会員の皆さん

「地域の人々が食生活に研鑽し、健康づくりの知識を深め食生活改善の実践を通じて地域に健康の輪を広げよう」と十二月十日、古多糠生活改善センターで町食生活改善推進協議会設立総会が開かれました。

同協議会は古多糠地区のご婦人を対象に今年四月から、中標津保健所や町の保健婦、栄養士らを講師に十三回の食生活改善推進員養成講座を修了し、この度の設立総会となり、会長には川瀬ミサさんが選任されました。現在は同地区のご婦人八十人が会員。

町では「今後、ほかの地区のご婦人を対象に会員を増やして全町的な広がりを実現するための健康づくりのためのリーダーとして活躍を」と期待しています。

モニュメント完成

—北方領土返還の願いをこめて—

この度、サーモン科学館の手前に北方領土返還啓発用のモニュメントが完成しました。

このモニュメントは北方領土隣接地域振興等事業補助金を受け、つくられたもので、北方四島との「対話・交流」を意味しており、一日も早い北方領土問題の平和的解決に向けての熱い願いがこめられています。

町では「全国各地からサーモンパークを訪れる多くの観光客に領土返還運動のPRになれば」と期待しています。

▼北方四島をイメージした モニュメント



地域的话题をお知らせ下さい。▶

ま ち の 話 題

今年

今年

の干支は戌——犬

は、家畜の中でも最も人間と古い付き合いをしている動物だといわれています。もともと、野生のオオカミやジャッカルを飼いならしたのが、人間とパートナーを組む始まりとなったようです。犬の臭覚は人間の百倍、それ以上で、聴覚も人間よりはるかに良いといわれています。

視力は近視ですが、動くものには敏感に反応し、方向感覚にも優れています。さらに、リーダーに従う、テリトリー（縄張り）を守るなどの習性をもっているため、人間の良いパートナーとなつてこられたでしょう。

この

特長と習性を生かして、犬は人間社会でさまざまな「貢献」をしています。盲導



犬や聴導犬、牧羊犬や猟犬、荷物を運んだり車やそりを引いたりする使役犬、番犬や軍用犬、警察犬や救助犬などとしてです。なかには闘犬、やレース用の犬など、娯楽用の犬もいます。最近では、麻薬を探知する麻薬犬として活躍しています。

る犬もいます。

一般の方に身近なのは、愛玩犬です。犬の種類は四百種類以上あるといわれています。手の平に乗るようなチワワから、体重百キロを超すセントバーナードまで、大きさも姿もいろいろです。

最近

は、都会では屋外で犬を飼うことが多くなつてきました。そして、過密な都会での犬の飼

い方をめぐって、近隣公害が問題になっていきます。おりやさくに閉じ込めることなく、人間と行動をともにし、助け合つて生きてきた時代からみると、犬にとつても住みにくい世の中となりました。

ところで、正月の遊びにつきものの「犬棒カルタ」——あの「犬も歩けば棒に当たる」はどういう意味だと思いますか。本来は、「出歩けば災難に遭う」ということです。しかし最近では、歩き回ればチャンスに会えるとか解釈する人が多いいとか……いずれにしても、今年はいいいチャンスをつかみたいですね。

暮らしのポイント

お正月は、重箱やお屠蘇に使う漆器類が、料理とともに食卓に彩りを添えます。こうした漆器類の取り扱いに肝心なのは、まず漆を塗った表面を傷つけないようにすることです。表面を傷

漆器の取り扱い

がはがれやすくなります。長時間水の中につけておいたり、熱湯で洗ったりすることも避けてください。塗りのはがれ、木地が変形する原因になります。また、ほかの食器と一緒に洗いおけなどに入れて洗つと、茶碗の角や糸底などに当たつて、漆器を傷つける恐れがあるので、漆器類だけをまとめて洗つようにしてください。洗うときは、ぬるま湯で、ガーゼのような柔らかい布を使つて、丁寧に洗います。また、洗いおけに洗剤を薄めに溶かして洗えばよくすすぎます。



米ぬかでの消し

いていたら、洗う前にティッシュペーパーでふきとつてから、ぬるま湯で洗うのがコツです。洗った漆器類は、ガーゼなどでふいて水気をよく取り、風通しのよい所で乾かしてください。しまつときは、柔らかい和紙かティッシュペーパーに丁寧に包んで、箱に入れます。

このとき、漆器に手の脂や指紋をつけないことが大切です。木綿の手袋をはめるとよいでしょう。

漆器には、特有のにおいがあります。使っているうちに自然と抜けますが、気になるようでしたら、米ぬかの中に入れておく入れてください。ぬかがにおいを吸収してくれますし、ぬかの油分で漆器につやも出ます。昔から、「漆器を米びつに入れておくと、においがとれる」と言われてきましたが、これは米ぬかの「効用」だったのです。

管内最高賞に輝く

—郷野 亜希さん(標津中2年)—

中学生の『税についての作文』

全国納税貯蓄組合連合会が中学生を対象に公募した、「税についての作文」で、本町から標津中学校二年の郷野亜希さんが管内の最高賞である根室税務署長賞に輝きました。

今回、全国での応募総数は三十四万三千通。十二月七日、岩崎税務署長が同校の全校集会に合せて訪れ、郷野さんに表彰状と記念品を手渡しました。この度の郷野さんの作文をご紹介します。

『町の未来は税金から』

標津中学校二年
郷野 亜希さん

毎年、三月十五日は所得税の確定申告の期限です。確定申告とは、一年間の所得に応じた税金の金額を申し出るものです。私たちは大人になれば、こう

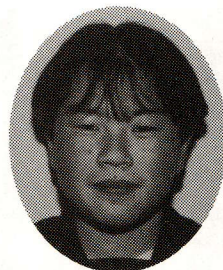
して自分たちの所得の一部を税金として納めなければならないのです。もし、税金が無かったら私達の暮らしは、どうなるのでしょうか。

私は今回この作文を書くにあたって、役場へ行き、いろいろなことを税務課の皆さんに教えていただきました。

税金は大きく分けると、二つのタイプがあります。それは国税と地方税です。国税には所得税・法人税・相続税など、二十三種類があり、地方税には市町村民税・固定資産税・国民健康保険税など、二十九種類の税があります。

国税は国会や海外援助、自衛隊、警察などの国家公務員をお

く費用など、さまざまなことに使われています。もし、国税が無かったら、国会が成り立たなくなり、海外援助やPKO活動もできなく、自衛隊、警察などの国家公務員をおくこともできなくなります。行政機関などは国からの補助金が無くなり、そこで、今までの活動がストップしてしまいます。教育に関しても、国民の負担が増したりします。



郷野さん

地方税が無くなったら、どうなるでしょう。ここでは町を主体にして考えてみましょう。町では税金は、保育園から中学校や公民館、各町内の生活会館、総合体育館、道路、橋などの費用などに使われています。

もし、地方税が無ければこわれた道路や橋はそのまま、公共施設はどんなに古くなっても新しくはならない。私たちの町は荒れ果て、環境が悪くなってい

ます。

たとえば、今年一月に起きた「釧路沖地震」では、下水道・道路・橋・港・鉄道など復興をするために、何十億というお金が必要となっています。これは国からの援助が無ければ補修することが困難です。こういう一つのことにしても、国からの助成金が出ないと、国民の生活がしずらくなっています。

私の住んでいる標津町は農業と水産業の二大産業であり、たっており、農・漁業についてはいろんな補助制度があります。農業では土地改良に、漁業では波よけブロックなどに補助金が使われています。

今回、私が「税金」のことをいろいろ調べたり、お話を聞かせていただいたりして一番心に残ったことは……

「税金」。それは国を支え、私たちの暮らしを支え、私たちの住んでいる町をつくりあげるためには絶対に欠かせないお金であり、そして、私たちの『町の未来』・『日本の未来』をつくりあげるためにも欠かせないものでない、大切な役割りを果たすお金だと言うことです。



岩崎税務署長から表彰を受ける郷野さん

けいた 若杉(昌人)さんちの敬太くん (H5.1.19生)

茶志骨 93



●生まれた時の身長・体重は——。

身長／47.4cm 体重／2,540g

●最近の身長・体重は——。

身長／74.0cm 体重／8.6kg

～お母さんから一言～

敬太は生まれた時がちょっと小さめで心配してはいたんですが、今では見てのとおり元気そのものです。

うちは家族が多いので敬太も人見知りせず、だれにでもなついてくれます。最近では意志表示がはっきりしてきて、ご飯を食べていても思いどおりにならないことがあると口を開けてくれません。

お母さんからの願いは、活発で心優しい子に育ってほしいですね。

町の保健事業③
今月号では「健康教育」をご紹介します。
町では、年間七十回程度の「健康教育」を実施しています。
各老人クラブや婦人部などに
出向いて、病気予防や健康増進
についてのお話し、調理実習な
どを行っています。(下表)
詳しくは、保健指導班までお
問い合わせください。



今月の担当は
「畠澤保健婦」です。

いかがですか あなたの健康

保健指導班の☎は
代2-2131・内線129・131・138
です。～お気軽にどうぞ～

——町で実施している「健康教育」の一部——

テ ー マ	内 容	対 象 者	担 当 者
高血圧と脳卒中	高血圧の予防方法。 合併症をまねかないための コントロール方法について。	成 人	保 健 婦
骨そしょう症	骨がスカスカになり、骨折 しやすくなる病気です。最 近は若い人にも多くなっ てきました。 予防のために、今からで きることを実行しましょう。	成 人	保 健 婦
肺 癌、胃 癌、 大 腸 癌	各癌の特徴、早期発見の 方法、癌の予防方法をお教 えします。	成 人	保 健 婦
ヤングセミナー	主に、結婚前の若い人を 対象に、性に対する医学的 な知識を身につけてもら うとともに、生き方を一 緒に考えていきます。	高校生から 成 人	保 健 婦
歯 槽 膿 漏、 むし 歯 予 防	歯と歯茎の正しいお手 入れの方法を丁寧に指 導いたします。	子 供 か ら 成 人	歯科衛生士

*ここにはないテーマでも健康に関するものであれば対応します。



高校生を対象とした「ヤングセミナー」の模様
(新生児の人形を使つての説明)

サーモンエース

発行
サーモン科学館

Vol.17

Q&A コーナー

Q、サケの赤ちゃんのお腹についている赤いふくろはなに？
A、生まれたばかりのサケ科の魚のお腹には、写真のようにふくろがついています。このふく

ろは「卵黄のう」または「さいのう」といいます。この「卵黄のう」の中には、栄養分がたくさんあるので、このふくろがある間、サケの赤ちゃんは、餌を食べなくても大丈夫です。

このふくろはシロザケの赤ちゃんの場合、約二ヶ月（八℃の水の場合）で体に吸収されます。

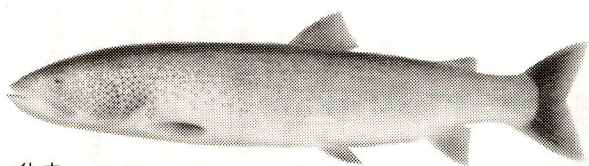
科学館の魚たち⑥

イトウ

イトウは、「幻の魚」といわれるように近年、その資源が減少している魚です。北海道、千島、サハリン、沿海州などに分布しており、かつては青森県にも生息していましたが、ここでは一九四十年の捕獲の記録を最後に絶滅しました。

イトウ属（イトウの仲間）の魚は、ユーラシア大陸に広く分布しており、世界には五種いるといわれています。

イトウは日本最大の淡水魚ともいわれていますが、かつては二メートル以上もあるものも捕



イトウ
Hucho perryi
JAPANESE HUCHEN, SAKHALIN TAIMEN

獲されたことがあるといわれています。産卵期は、四月から五月ですが、産卵後も死ぬことなく、一生の間は何回も産卵します。

イトウの成長は非常に遅く、雌の場合は成熟まで六十七年かから、寿命も非常に長く二十年以上も生きるものもいます。ちなみに、北海道大学七飯養魚実習施設では、人工受精で卵から二十三年飼育したイトウがおり、体長は約一メートルになっているそうです。

青森県西津軽郡では十年ほど

前からイトウの養殖が行われています。現在、二キログラムに育った四〜五年魚を出荷しています。さらに、湖に大型のイトウを放流し、イトウ釣り大会も行っており、イトウを使った町おこしに取り組んでいます。

サーモン科学館入館者数

(11月末現在)

11月の入館者数	5,373人
オープン以来累計	328,743人
本年度累計(4〜11月)	121,386人
対前年比(4〜11月)	95.6%
	(5,586人減)

お願い

サーモンパーク内へのスノーモビルの乗り入れは禁止しております。ご協力をお願いします。

休館のお知らせ

当館では、一月まで館内整備などのため、休館となっています。開館は二月一日からとなっています。

郵便局からのお知らせ

郵便料金が改定されます

郵便局では手紙・はがきなどの郵便料金を平成6年1月24日から、次のとおり改定させていただきます。

何とぞご理解とご協力をお願いいたします。なお、小包郵便物の料金は改定いたしません。

主な新料金

- 通常はがき 41円 ↓ 50円 ● 定形郵便物 (25gまで) 62円 ↓ 80円
- 定形外郵便物 (50gまで) 120円 ↓ 130円 ● 書留料金 360円 ↓ 420円
- 速達料金 210円 ↓ 270円

育英年金付学資保険の新設

安心して子育てができる環境づくりを支援するため、郵便局では昭和46年から学資保険を販売していますが、契約者に万一のことがあった場合、経済的負担を軽減できるように従来の学資保険の保障内容に加えて育英年金の支払をする「学資保険を新設」しました。

契約できる保険金額は100万円以上で最高700万円まで、また、生存保険金付きは630万円まで契約できます。発売開始は平成6年1月1日からです。

詳しくは、郵便局の窓口またはセールスマンにお尋ねください。

お出かけ前には防火のチェック

年始には留守にする機会が多く、毎年各地で悲惨な火災事故が発生しています。お出かけ前には、防火のチェックを行ってから外出しましょう。

- コンロやストーブなどの元栓を閉めたり、電気機器などの電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。

- ストープなどをタイマーによって点火させる場合には、周辺に燃えやすい物が無いことを確かめタイマーセットを正確に行い、点火時間を考慮して帰宅しましょう。

- 子供や老人だけを残して外出することはやめましょう。

- やむをえず外出しなければならぬ時には、知人や隣り近所の人に管理のお願いをするなどしてから外出しましょう。
- 長期間留守にする場合には、知人や隣り近所の人に一言かけてから出かけるように心がけてください。—標準消防署—

水道給水の凍結にご注意

—役場上下水道課から—

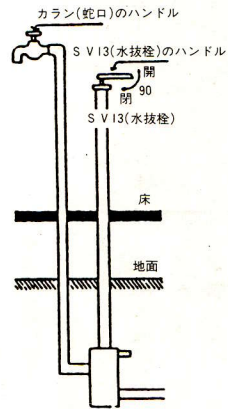
寒さが厳しくなりました。
給水管の凍結にご注意!!

※ お出かけ前、就寝前にははじめにすべての蛇口(カラン)を全開(水を出しっぱなし)にします。次に、水抜栓のハンドルを完全に閉めて水が抜けるのを確認してください。

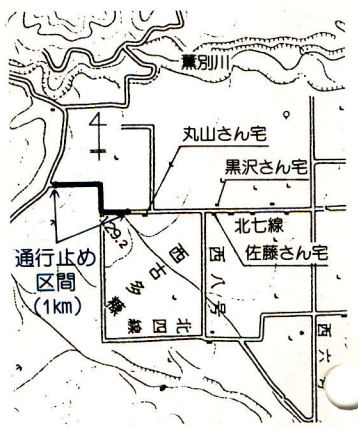
★もし凍ったとき?

- ① 蛇口にタオルか布切れをまいて熱湯をかけて下さい。(水抜栓のパイプ部分には、水がなくて凍りませんのでかけないで下さい。)
- ② それでも水が出ないときは、役場、又は下記業者へ連絡して下さい。

- 大標設備工業有限会社 ☎2-3332
- 出口設備有限会社 ☎2-2479
- 更谷商会 ☎5-2036
- 奥商会 ☎5-2021



道路の通行止めのお知らせ



上記の図のとおり、古多糠地区の「一般道道古多糠川北線」の一部を冬期間のため、通行止めとしますので、お知らせします。

▶ 期間

平成5年12月6日～
平成6年4月11日まで

—釧路土木現業所
中標津出張所—

水洗便所の凍結防止にご協力下さい。

- 便所内に水道の元栓がある方は、台所の元栓と一緒に閉めることを忘れずに。
- 就寝前や日中留守にする方は、ロータンのレバーを「大」の位置で止め、タンク内の水を抜くことを忘れずに。

★もし凍ったときは—

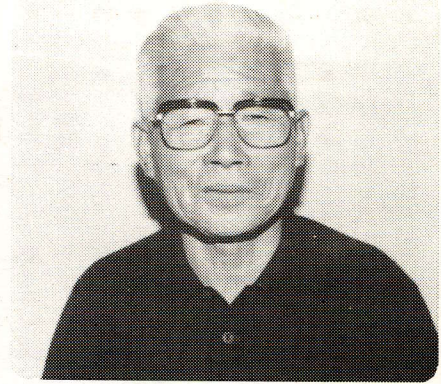
- 大標設備工業有限会社 ☎2-3332
- 出口設備有限会社 ☎2-2479

ま ち の 声



佐々木正一さん

(東浜町)



『住み良いまち』

今の地に住んだのは私の両親が達者な時代でありました。その頃の冬は国道の除雪作業もなため、浜に出るのに吹きだまりを回りながら海岸線を徒歩あるいは馬そりで行くのが唯一の交通手段でした。

父は一軒屋故に立ち寄る旅人には親切にと、よく私たちに言い聞かしていたことを今も忘れることはできません。私が当時確か十一才の頃、ある日大吹雪で夕方、一夜の宿を求めて若い

年前のことを思い出し、まちをあげての親切に感銘していただきました。

昭和五十四年、標津町開基百年事業の一つとして役場庁舎横に記念植樹したオンコ(イチイ)、また、同じく町内の各小中学校開校数十年記念として植樹したオンコは、いずれも樹齢数百年を越し、老樹冬を仰ぎ白銀の中にすくすくと成長しているあの姿を見る時、私八十の坂を越えた人生にもう一度あの若き日の青春を味わう気分になります。

今、町民あげての「親切」と「緑化運動」に専念しているまちに住んで、喜びと元気で過ごさせていただいていることに、この上ない人生を送っております。

●次の「まちの声」は、佐々木さんが選んだ新川上町の森岡繁子さんです。



戸籍の窓口から (11月16日から12月15日届出分)

おくやみ申し上げます。

氏 名	住 所	年 齢
橋詰 勇さん	寿 町	79歳
村上 寅男さん	弥 栄 町	79歳
吉村 順子さん	弥 栄 町	66歳
大谷 鉄雄さん	北 川 北	82歳

寄付ありがとうございました

●標津病院に——村上マサ子さん・英之さん

●中央公民館に——梅木勝美さん(図書購入費として)

●はまなす苑に——村上マサ子さん・英之さん、佐々木笑子さん(タオル)、根室信用金庫標津支店(湯のみほか)、

マザーグース(ティッシュペーパー)、小林理容店(石けん)、齊藤正一郎さん(卓球台ほか)

●町社会福祉協議会に——橋詰修さん・大坂勝雄さん・吉村恒男さん・間豊太郎さん・村上マサ子さん(香典返しをやめて)、矢部武さん(全快祝

をやめて)、聖友標津支所(活

動資金として)

人口のうごき 平成5年12月1日現在 ()内は前月比

世帯数 2,273世帯(-2)
人口 6,828人(+2)
男 3,314人(+2)
女 3,514人(+0)

町内の交通事故 12月 ()内は累計

人身事故 0件(12件)
負 傷 者 0人(2人)
死 亡 者 0人(3人)
物損事故 11件(178人)

死亡事故ゼロの日
134日(12月15日現在)

編集の窓

▼明けてましておめでとございます。いよいよ'94年がスタート。▼昨年は大地震に始まり基幹産業の不振など、さんざんな年でした。今年はどうカー。▼世はまさに不況。特に農業は「ガツツ」の受け入れにより、厳しい局面を迎えるなど暗い話ばかりになるのが現実。今は我慢のしどころなのか。▼さて、子供のころ楽しみだつたのが正月のお年玉。大人になつてもほいものです。(〇)